

吉岡幸雄 源氏物語に見る日本の色



紅葉賀

花や実、樹木の皮や根などから色を汲み出して、糸や布を美しい彩に染める日本に古くからあった植物染に日々取り組む吉岡氏。千年余り前の平安の時代に紫式部が書いたとされる源氏物語。当時の朝廷の人々の様子や宮中の風趣、とりわけ平安京の季節毎の麗しい風光、宮中の儀式や祭礼、そして往時の女人たちの衣装の色目の描写など細やかな観察と傑出した描写がみられます。

天皇の皇子として生まれた才知豊かで美貌の光源氏が展開していく長大な物語。五十四帖の物語のなかに描かれた色彩の豊かさに日本の細やかな自然を映した色彩を表現し、楽しんでいったのかを訪ねてまいります。



襲色目 和本

◆プロフィール

昭和21年、京都市に生まれる。生家の「染司よしおか」5代目継承を嫌い、ジャーナリストを志望し、昭和42年、早稲田大学第一文学部文芸学科に入学。しかし、卒業後、父や伯父らの傍らにいて見てきた日本の美術工芸への興味、さらには京都の重層な伝統への関心は断ち切りがたく、昭和48年、自ら代表となり、美術工芸図書出版「紫紅社」を設立。社名に日本古来の代表色といえる紫と紅を配したことは、氏の活動の源泉をあらわしていることはいまでもない。

紫紅社で、豪華本『琳派』（全五巻）、『根来』『正倉院裂と飛鳥天平の染織』『狂言の装束』『日本の髪型』など70冊（平成12年4月現在）におよぶ出版活動を行ない、さらに『日本の意匠』（全16巻、京都書院刊）、『日本の染織』（全20巻、京都書院刊）の編集長として、伝統美の集大成を編む。また、電通や朝日新聞社の委嘱を受け、コマーシャル制作や編集制作、美術展覧会の催事企画なども行なう。

そのまま、出版、広告、催事の世界でその才を生かすと思われたが、生家に戻ることを決意、昭和63年、「染司よしおか」5代目当主を嗣ぎ、染師福田伝士と二人三脚で植物染による日本の伝統色の再現に取り組む。平成3年に奈良薬師寺三蔵院にかける幡五旗を多色夾纈によって制作し、きもの文化賞を受賞（財団法人民族衣裳文化普及協会）。同4年、薬師寺「玄奘三蔵会大祭」での伎楽装束四十通を制作。同5年、奈良東大寺の伎楽装束四十通を制作。天平の時代の色彩をすべて植物染料によって再現して話題となる。平成20年、成田空港到着ロビーのアートディレクターをつとめる（グッドデザイン賞受賞）。また、源氏物語千年紀にあたり、源氏物語の色五十四帖を再現。平成21年、京都府文化賞功労賞受賞。

平成22年、日本古来の染色法による古代色の復元、東大寺等の伝統行事、国文学、国宝修復など幅広い分野への貢献が認められ、第58回菊池寛賞受賞（日本文学振興会主催）。

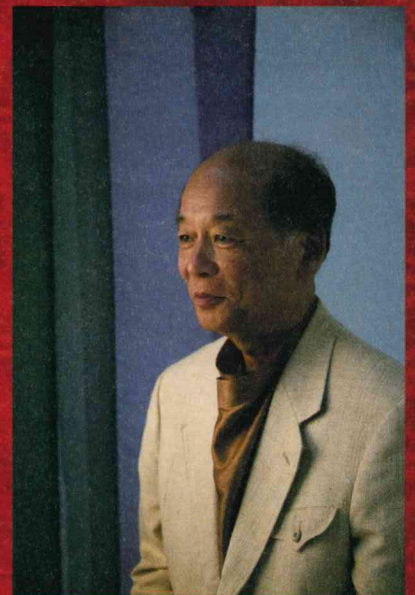
平成24年、放送文化の向上に功績があった人物に贈られる、第63回（平成23年度）NHK放送文化賞受賞。

主な著書：

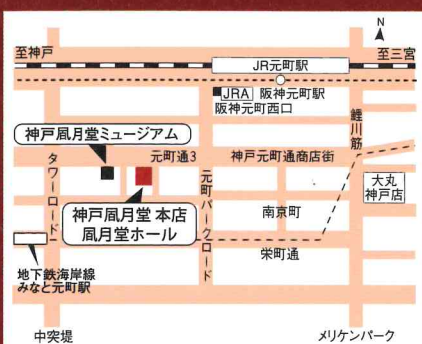
「日本の色辞典」「源氏物語の色辞典」（紫紅社）、「王朝のかさね色辞典」（紫紅社）、「千年の色 古き日本の美しさ」（PHP研究所）、「日本人の愛した色」（新潮社）

「日本の色を染める」（岩波新書）など多数

講演終了後、吉岡幸雄氏の書籍等販売・サイン会を予定しております



吉岡幸雄(よしおか さちお)
染織史家・染司よしおか五代目当主



■と き 平成30年10月21日(日) 13時30分開演(開場13時)

■と ころ 風月堂ホール(神戸風月堂本店地階)

〒650-0022 神戸市中央区元町通3-3-10

■参加費 大人3,000円/大学生・高校生2,000円/中学生以下1,500円

お茶とお菓子付き(講座内容に合わせた特製菓子をお出しいたします)

お申込み・お問い合わせは/ TEL 078-321-5617 FAX 078-321-5665(サロン講座係)
受付時間: 平日9:00~17:00(他時間は留守番録音対応)

■主催 株式会社 神戸風月堂/ ■協力 染司よしおか